

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道314号 東城バイパス2工区	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県比婆郡東城町川西 至：広島県比婆郡東城町東城			延長	1.2km
<p>事業概要</p> <p>一般国道314号は、広島県福山市から島根県雲南市に至る延長約8.2kmの幹線道路である。 東城バイパス2工区は、広島県比婆郡東城町を南北に貫き、県北東部から中国自動車道東城ICや県東部へのアクセス改善を目的とした延長1.2kmの2車線バイパスである。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>当該区間は、東城町中心部の人家連担地区を通過しており、渋滞・事故が多発し交通の隘路区間となっていること、また、東城町のまちづくり関連事業との連携による地域活性化支援が期待されていることから早急にバイパス整備を行う必要がある。</p>					
全体事業費	3.6億円	計画交通量	5,100台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

広島県東部地域と備北地方間の連携強化、交通の円滑化等による地域の活性化を促す本事業に対しての地元の期待は大きく、「国道314号全面改修達成会」を結成しており、平成16年8月23日の定期総会においては、早期全面改修に向けた積極的な要望活動の実施等について決議がなされている。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
円滑な事業執行の環境：地元から要望書の提出がある。
手続きの完了：都市計画決定済み。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.8	総費用：2.9億円 （事業費：2.8億円 維持管理費：1億円）	総便益：5.3億円 （走行時間短縮便益：4.8億円 走行費用減少便益：3億円 交通事故減少便益：2億円）	基準年 平成16年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.0 (交通量 +10%)	B/C=1.6 (交通量 -10%)	
		事業費変動	B/C=1.7 (事業費 +10%)	B/C=2.0 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.7 (事業期間 +20%)	B/C=1.9 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	渋滞区間を解消する。（現況旅行速度14.7km/h→40km/h） 渋滞損失時間の改善 13.6万人時/年→5.4万人時/年 1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間 約7.88万人時/年km、約37.6人時/千台km（現況） 広島県平均：約1.97万人時/年km（約4.0倍）、約11.8万人時/年千台km（約3.2倍） 全国平均：約2.02万人時/年km（約3.9倍）、約10.8万人時/年千台km（約3.5倍） 渋滞度曲線 全国の上位6割に含まれる。 その他の特徴 広島県内国道314号中第1位の渋滞損失時間	
	事故対策	○	中心市街地から通過交通を排除する事業である。 死傷事故率 約210.1件/億台キロ（現況）（死傷事故率比（県内平均比）1.85（現況）） （事故率曲線における位置：広島県内区間の上位5割） 広島県平均：約113.6件/億台キロ 全国平均：約119.9件/億台キロ その他の特徴 中心市街地から通過交通の排除が図られる。		
	歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	—	注目すべき影響はない。	
		地域経済	—	注目すべき影響はない。	
		災害	○	広島県緊急輸送道路ネットワーク計画（第1次緊急輸送道路）に位置づけられている。成羽川広域一般改修事業との一体的整備により、治水機能向上を図る。	
		環境	○	CO2排出削減量：319t/年	
地域社会	○	主要な観光施設へのアクセス向上（帝釈峡256千人、東城温泉115千人）			
事業実施環境	—	注目すべき影響はない。			

採択の理由

費用対便益が1.8と便益が上回っていること、円滑な事業執行の環境が整っていること及び都市計画決定済みであることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当事業箇所の現況渋滞損失時間について事業実施による改善は大きく、渋滞対策の必要性、効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。